

昨年の3月11日14時46分宮城県牡鹿半島の東南島沖130kmの海底を震源として発生した東日本大震災は、日本における観測史上最大規模のマグニチュード9を記録し、国難といわれる程の甚大な被害を出し、多くの尊い命が奪われ、そのつめ跡は今なお深く、多くの被災者の方々が厳しい環境の中で生活を余儀なくされています。

あれから1年経ちました。長かった1年ですが、まだたった1年しか経っていません。復興にはまだまだ時間がかかることとは思いますが、震災から11か月も経過した平成24年2月、やっと復興庁が

正式に発足しました。これから復興庁が精力的に動くことにより、劇的に復興が進むことを願ってやみません。



手口や被害など
詳しい内容は
まだ不明だが

前回はエレコ「赤ドン雅」のART誘発ゴトについてお伝えしましたが、今回は山佐のART機の不正確情報についてお伝え致します。山佐のART機のごとと例えば、「サイバードラゴン2」のセルによるART誘発ゴトが昨年の10月

頃に流行りましたが、今回はまだ全国的に設置が多い山佐「モンキーターン」での不正確情報です。

まずひとつ目は、「ぶら下がり」が見つかったとの情報についてです。手口や被害状況等の詳しい内容はわかっておりませんが、そのぶら下がりとは、サブハーネス（主基板とサブ基板を繋ぐ4ピンの配線）の主基板側のコネクタを一旦外し、その間に割り込ませるジョイントタイプのぶら下がりだったようです。モンキーターンのサブハーネスは、サブ基板側のコネクタがサブ基板のケース内にあるため、取り外すとしたらサブ基板の封印

（かしめ）を壊して開封しなければなりません。そのために主基板側のコネクタのみを取り外して、不正品を取り付けるジョイントタイプのぶら下がりが開発されたものと思われまます。



コネクタの状況で
2つのタイプの
ぶら下がりに注意

ちなみに、山佐のART機のサブハーネスのコネクタの状態についてですが、「サイバードラゴン2」や「天下布武2」などは両側のコネクタがむき出し状態なので、ジョイントタイプと不正サブハーネスへのまるごと交換という2つのタイプのぶら下がりに注意が必要です。また、今回のモンキーターンと同様に片側コネクタのみむき出しというART機は「カンフー大戦」などがあるのです。こちらはモンキーターンと同様にジョイントタイプのぶら下がりに注意をしてください。

「鉄拳2」以降の機種には、セルゴト対策でサブハーネスがチップカバーで覆われており、サブハーネスのコネクタについては、サブ基板側はケース内にあり、主

ゴトに勝つ

高石隆一

8

「ぶら下がり」と「不正サブ基板」
狙われている「モンキーターン」

基板側にはコネクタカバーが付けられており、両側とも対策がされております。ただ、それでも新たな突破方法を作ってゴトを仕掛けてくる可能性がありますので安心はできません。

サブ基板の裏側に小型基板を仕込む山佐では初めて

モンキーターンふたつ目の不正情報は不正サブ基板についてです。こちらも手口や被害状況等の詳しい内容はわかっておりませんが、山佐「モンキーターン」においてサブ基板の不正品が見つかったとの情報を入手しました。情報によると、今回発見された不正サブ基板には、サブ基板の裏側に小型基板が仕込まれていたとのことです。また、サブ基板にある「かしめ」には目立った傷がなかったものの、かしめキャップ内にあるネジがしっかりと止まっていなかったとのことです。サブ基板を狙った不正は、昨年サミー「蒼天の拳」やロデオ「鬼武者」でサブ制御ロムを不正品に交換する手口が確認されておりますが、山佐製遊技機のサブ基

板を狙った不正が確認されたのは今回が初めてになります。

基板の裏側に配線や部品があればかならず不正と

ちょっと小難しい話になります。が、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に基づいて定められた「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則」の中の「別表第3 不正な改造その他の変更を防止するための遊技機の構造に係る技術上の規格（第6条関係）」で、主基板、中継端子板、外部端子板、遊技球等貸出装置接続端子板に関して、「板面に印刷された配線以外の配線が行われているものでないこと。」と「両面に電子部品が装着されているものでないこと。」ということが明記されております。

しかし、周辺基板に関しては「その型式を特定するための番号、記号その他の符号が、板面に印刷され、容易に識別することができる方法で表示されているものであること。」としか明記されていないのですが、実際にはサブ基板など

の周辺基板においても、基板の裏側に配線や電子部品が装着されているケースは皆無に等しいので、もし基板の裏側に配線や電子部品が装着されているのを発見したのであれば、それは重大な発見かもしれませぬ。

特に気を付けたい中古機として導入は仕込まれている恐れ

今回発見された不正サブ基板は、かしの状況などからかなり巧妙に作り込まれていることが伺えますが、モンキーターンを含む山佐製遊技機のサブ基板は、筐体にネジ一本で固定されているので、そのネジを外してサブ基板の裏側をチェックすれば、簡単に安全点検ができます。しかし、逆をいえばサブ基板はネジ一本で固定されているだけなので取り外しが容易であり、正規のサブ基板と持ち込んだ不正サブ基板を丸ごと交換するのも容易であると言えます。

不正サブ基板が仕込まれる際、営業中の台開け行為が伴うことが予想されます。もちろん、夜間侵入や内部犯行による被害も想定さ

れますが、特に注意をしていただきたいのが、中古台として導入した台にあらかじめ不正サブ基板が仕込まれているケースです。このケースでは、不正サブ基板が付いていることにより無承認の構造変更で、ホール側が重大な風営法違反として行政処分を受ける可能性が考えられますので、中古遊技機を設置する場合はモンキーターンだけではなく全ての中古遊技機で十分に注意をしてください。

ほぼ間違いなくART絡みの不正リモン使用かも

モンキーターンのぶら下がりとは不正サブ基板ですが、これらふたつの不正品の機能としては、山佐「モンキーターン」がARTしかボーナスがない遊技機であることや最近のゴト傾向から考えても、ARTの誘発、ARTゲーム数の上乗せなどART絡みの不正であることは間違いありませんが、不正品の起動（セット方法）は特に目立つような方法ではなく、普通のお客様となんら違いの無いような打ち方で起動させるので、セット

方法から発見するのは容易ではありません。

未確認情報ですが、不正サブ基板はリモコンのようなもので起動するとの情報があります。

最近のゴトグループは、不正品を仕込んでゴトを行う場合には、1回で大量に抜いてしまうと店舗側が不審に思い、当該店の点検を行われて不正品が発見され除去されてしまうので、その店舗の稼働状況などを分析して、データのバレない程度しか抜かずに、細く長く莫大な金額を抜くというのが奴らの口口です。店舗側は、定期的な遊技機の安全点検確認を実施することにより、被害にいち早く気がつき、その被害額をなるべく少額で抑えることが大切です。

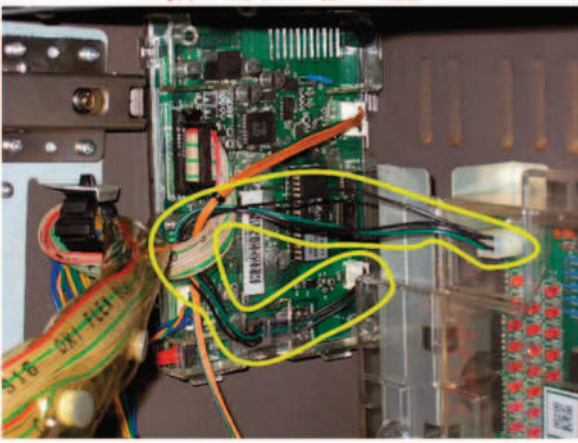


写真1 ぶら下がり 扱われる配線



サンドを狙って 約1時間の速さで メダル1万枚以上

今年の1月30日、北海道のとあるパチンコ店にて、閉店後データチェックを行ったところ、誤差メダル約1万1000枚が発生していました。原因追求するため録画映像を確認すると、6人組のゴトグループによるメダルサンドを狙ったゴトであることが判明しました。映像から実行犯がメダルサンドのノズル付近に右手を伸ばしてゴト器具を挿入した後に、メダルサンドに千円札を投入し、メダルを過剰に払い出させているのが確認できました。犯行時間は約1時間という短時間でしたが、自動補給だったために約1万1000枚もの莫大な被害が発生してしまいました。

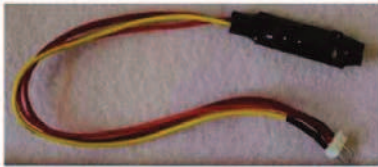


写真2 ぶら下がり 参考品

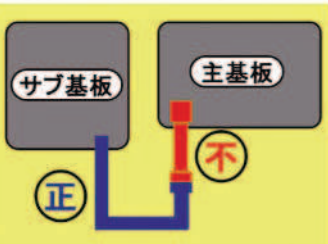


写真3 ぶら下がり 取り付けイメージ

翌日から、北海道内のあちこちの店舗から、このゴトグループ

プによる被害や目撃情報が相次ぎました。とにかくこのゴトグループは手馴れていて、犯行も素早く、用心深く、常習的な悪質なゴトグループであることが、被害に遭った店舗からの情報で何うことが出来ました。

全国を股にかけて 犯行で使うのは 島端のメダル箱

調べてみると、このゴトグループはP-WORLDのホール交流掲示板やA-UNETなどで何度も話題になっている、全国的に活動しているゴトグループであることが判明しました。その被害情報をまとめてみると、昨年の4月に神奈川県、10月に愛知、11月には鹿児島、大阪、山梨、12月には大阪での被害情報が揭示されていきました。

今回北海道では、1月30日から2月4日までの期間で被害情報及び目撃情報を確認することができましたが、残念ながらひとりも逮捕にすることができず、道外に逃がしてしまいました。現在もどこかのパチンコ店で悪さをしていると思ふと腹が立ってしかたありません。

このゴトグループは犯行を行う際に、各台に置いてあるメダル箱を使用しないで、見張り役兼交換役が島端にあるメダル箱置場から持ってきたメダル箱を使用して犯行を行うのが特徴として見られました。これは、もともと置いてあるメダル箱を使用して犯行を行なった場合、ホールスタッフが気をつけてメダル箱を追加して持つてくる可能性が出てきます。

その際にホールスタッフが近くに来ることにより、犯行を中断しなければいけなくなります。それよりも何よりも犯行がバレる可能性があるので、その危険性を回避するために、その危険性を回避する必要があります。なんとズル賢い行動なのでしようか。

北海道のホールで 見慣れない3人 すぐ役職者に連絡

悪質なゴトグループによる犯行の場合、以前から何度もお伝えしていることですが、見慣れないお客様が横並びに座って遊技している状態というのは、大変危険な状態で、この状態にいち早く気がつ

間もなくして、その見慣れない人物3人がスロットコーナーで並んで着席しました。非常に危険な状態であると察知したホールスタッフマークを開始したところ、その見慣れない人物らがお金を入れた様子もなく遊技を始めたと感じられたため、ホールスタッフはインカムで役職者にモニターチェックを要請しました。

見慣れない人物らが店外へ出て行ったため、ホールスタッフがその動向を伺っていると、見慣れない人物のうち1人が店内に戻ってきて、ホールスタッフに対し「外に来い」とすごんできました。その状況を見ていたほかのホールスタッフから役職者にその状況を知らせるインカム連絡が入り、役職者が店内風除室にて見慣れない人物との対応に入りました。

今回のケースでは、見慣れない

お客様にいち早く気がついた優秀なホールスタッフと、役職者の連携が素晴らしかったと言えるでしょうが、一番大切なのは普段から見慣れないお客様に対する意識を持たせる接客の教育をホールスタッフに実施し、イザという時の対応方法を、イザという時に実施できる能力を養うことです。今回ご紹介した店舗では、それらができていたので、実害無く済んだことだと思います。

ちなみに被害サンドメーカーは、主に日本ゲームカード、大1で多数の被害報告が挙がっているが、日本金銭やShukoなどのサンドでも被害が発生しているのです、どのメーカーが安全であるとは言えない状況ですので、ここに挙がっていないメーカーのサンド設置店舗であっても厳重な警戒をしていただきたいと思います。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち 警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパン・セキユリティー・サービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「一期一会」が座右の銘。

止の分かれ道になります。今回道内のあるパチンコ店では、このサンドゴトグループの来店にいち早く気がつくことにより被害なく済みました。その状況は、このサンドゴトグループのうち3人が、まず初めに入店してきました。この段階で、ホールスタッフから、「見慣れないお客様3人が店内にいる」とのインカム連絡が入りました。

役職者がモニターチェックを始めたところ、すぐにその見慣れない人物らは席を離れたため、さすがホールスタッフが遊技台のホッパーを点検すると、予想通りに他店メダルを発見しました。見慣れない人物らが店外へ出て行ったため、ホールスタッフがその動向を伺っていると、見慣れない人物のうち1人が店内に戻ってきて、ホールスタッフに対し「外に来い」とすごんできました。その状況を見ていたほかのホールスタッフから役職者にその状況を知らせるインカム連絡が入り、役職者が店内風除室にて見慣れない人物との対応に入りました。

役職者がその見慣れない人物の顔を確認したところ、道内のあちこちで犯行を繰り返しているサンドゴトグループのゴト師であることに初めて気づきました。役職者が対応に入ると、ゴト師は「なに見てんのよ！」など方言交じりの言葉で叫びはじめ、その後、ほかのゴト師もその中に加わり、1分ほど叫び続けた後、「いいかげんにしろよ！」と意味不明の捨て台詞を吐き捨てて退店して行きました。ちなみに車両は近隣へ駐車していた模様で、徒歩で来店していた様子でした。入店から退店まで約5分の出来事でした。

お客様にいち早く気がついた優秀なホールスタッフと、役職者の連携が素晴らしかったと言えるでしょうが、一番大切なのは普段から見慣れないお客様に対する意識を持たせる接客の教育をホールスタッフに実施し、イザという時の対応方法を、イザという時に実施できる能力を養うことです。今回ご紹介した店舗では、それらができていたので、実害無く済んだことだと思います。

ちなみに被害サンドメーカーは、主に日本ゲームカード、大1で多数の被害報告が挙がっているが、日本金銭やShukoなどのサンドでも被害が発生しているのです、どのメーカーが安全であるとは言えない状況ですので、ここに挙がっていないメーカーのサンド設置店舗であっても厳重な警戒をしていただきたいと思います。

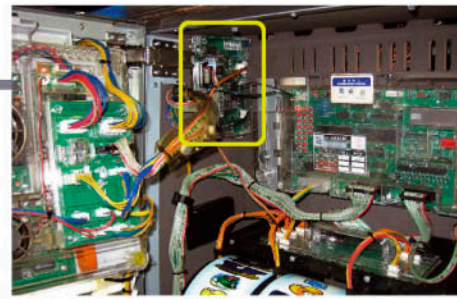


写真4 不正サブ基板 狙われる基板

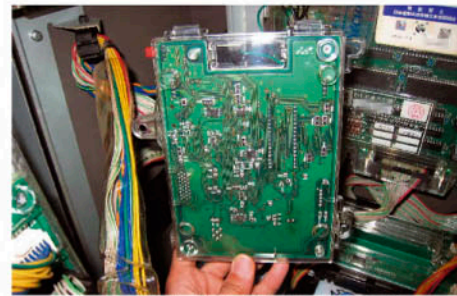


写真5 不正サブ基板 狙われる基板の裏側



写真6 不正サブ基板 狙われる基板の裏側イメージ

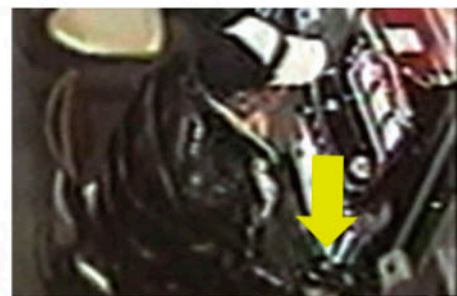


写真7 メダルサンドゴト ゴト器具挿入



写真8 メダルサンドゴト 空箱を取るシーン